SONY

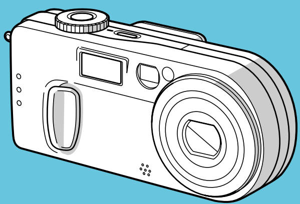
3-075-509-**03** (1)

取扱説明書

サイバーショット基本編

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

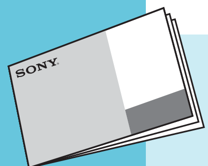
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Cyber-shot
Digital Still Camera

MEMORY STICK ™

InfoLITHIUM ™ C TYPE



別冊の
「サイバーショット応用編／困ったときは」もご覧ください。

DSC-P2

こんなことができます

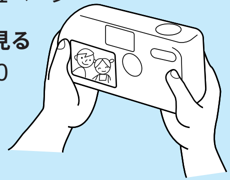
静止画を撮る

➡ 16～28ページ



静止画を見る

➡ 29～31ページ

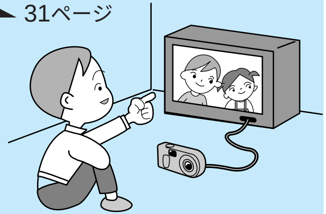


液晶画面で見る

➡ 29～30ページ

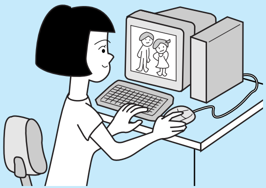
テレビで見る

➡ 31ページ



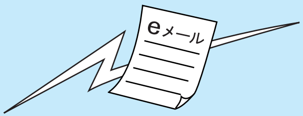
パソコンに取り込んで見る

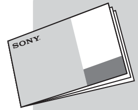
➡ 37～51ページ



Eメールに添付して送る

➡ 別冊応用編 12ページ

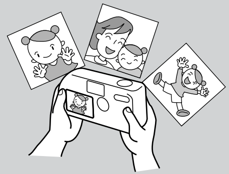




別冊の
「サイバーショット応用編／困ったときは」

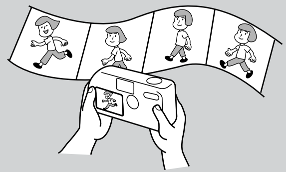
いろいろな静止画の撮影／再生／編集

➡ 5～21、28～34、38ページ



動画を撮る／見る

➡ 22～27ページ



困ったときは

➡ 39ページ

目次

別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」について

「サイバーショット応用編」では、静止画の応用的な使いかたや、動画の撮影方法などを説明しています。

また、**「困ったときは」**（39ページから）では、本機を操作していて困ったときの代表的な対処方法を説明しています。

「サイバーショット応用編／困ったときは」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編 ➡** ページ番号」のようにご案内しています。

お使いになる前に

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、“ メモリースティック ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

可動式レンズについて

本機は可動式レンズを採用しております。レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。

結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（**別冊応用編** → 59ページ）。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

日光および強い光に向けて本機を使用しないでください！

目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。

本書中の画像について

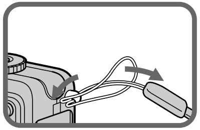
画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

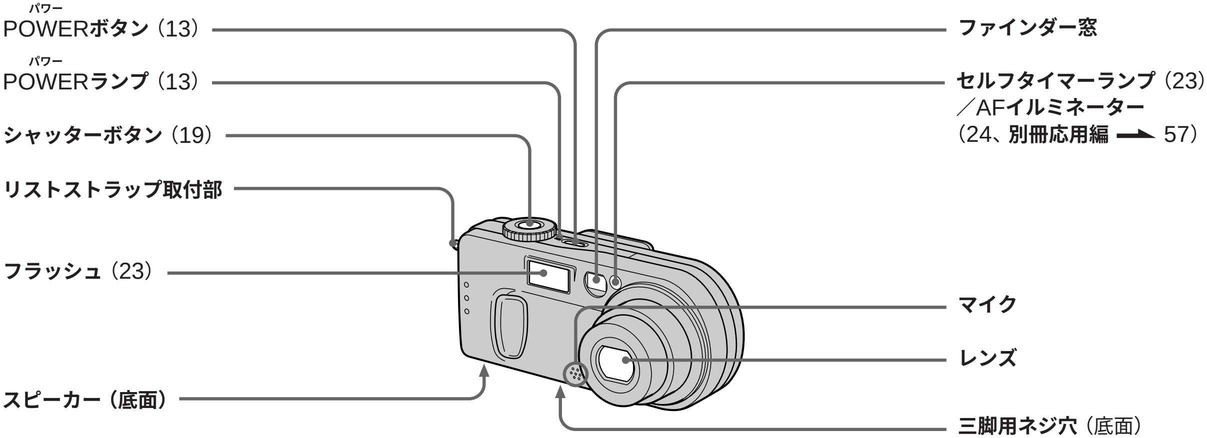
商標について

- " Memory Stick "（" メモリースティック "）、MEMORY STICK™、" MagicGate Memory Stick "（" マジックゲート メモリースティック "）および MG はソニー株式会社の商標です。
- " マジックゲート "および " MAGICGATE "はソニー株式会社の商標です。
- " InfoLITHIUM（インフォリチウム）"はソニー株式会社の商標です。
- PictureParadise および「ピクチャーパラダイス」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 「プレイステーション」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

各部のなまえ

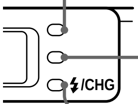
ストラップの取り付けかた



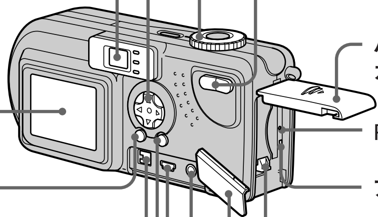


別冊の**「サイバーショット応用編／困ったときは」**に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では**「別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。
- マイクには、撮影時は触れないでください。

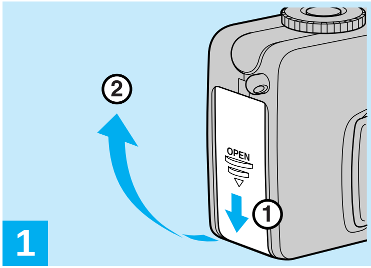


ϟ/CHG



コントロールボタン
（メニューON時）（▲/▼/◀/▶/●）（13）／
（メニューOFF時）ϟ/◷/⊜/✿（23/22/20/21）
ファインダー（25）
セルフタイマー／録画ランプ（赤）
AE/AFロックランプ（緑）
チャージ
ϟ/CHGランプ（オレンジ）
（9、23）
液晶画面
ディスプレイ
DSPL/LCD ON/OFFボタン（25）
DC IN端子（8、12）
メニュー
MENUボタン（17）
USB端子（42）
モードダイヤル（14）
SCN: シーンセレクション
📷: 静止画撮影
▶: 画像再生／編集
🎞: 動画／クリップモーション撮影
／マルチ連写
セットアップ セットアップ
SET UP: SET UPの項目設定
ズームボタン（撮影時）（21）／
（インデックスボタン）（再生時）（30）
バッテリー／“ メモリースティック ”
カバー
リセット
RESETボタン（別冊応用編 ➡ 39）
アクセスランプ（16）
バッテリー取りはずしつまみ（9）
端子カバー
モノラル
A/V OUT（MONO）端子（31）

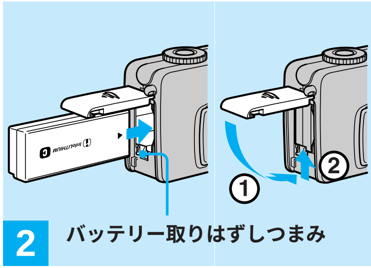
バッテリーを充電する



➡ バッテリー／“ メモリースティック ”カバーを開ける

矢印の方向にスライドさせると上に開きます。

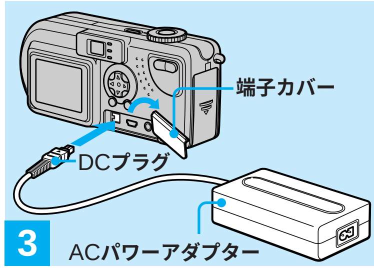
- **バッテリーを充電するときは、必ず本機の電源を切ってください（13ページ）。**
- 本機の電源には“ インフォリチウム ”バッテリー（Cタイプ）NP-FC10（付属）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません（**別冊応用編** ➡ 60ページ）。



➡ バッテリーを入れて、バッテリー／“ メモリースティック ”カバーを閉める

バッテリーの▲マークを奥にして入れます。
バッテリーが奥まで確実に入ったことを確かめてからカバーを閉めてください。

- バッテリーの先端でバッテリー取りはずしつまみを下側に押しながらバッテリーを入れると、簡単に入ります。

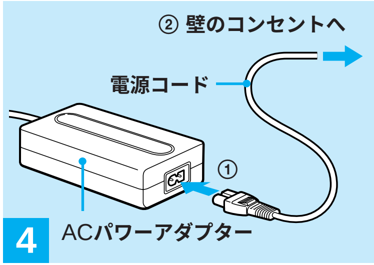


➡ 端子カバーを開け、ACパワーアダプターAC-LS1A（付属）のケーブルを本機のDC IN端子につなぐ

端子カバーを矢印の方向にまわして開きます。
DCプラグの▲マークを上にしてつなぎます。

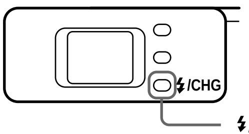
- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACパワーアダプターのDCプラグを汚れたまま使わないでください。汚れは乾いた綿棒などで拭き取ってください。
汚れたままご使用になると、正しく充電されないことがあります。

4



→ 電源コードをACパワーアダプターと壁のコンセントにつなぐ

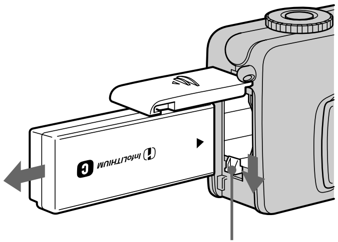
充電が始まり、⚡/CHGランプが点灯します。



充電が終わると⚡/CHGランプが消えます（**満充電**）。

- バッテリーの充電が終わったら、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

バッテリーを取り出す

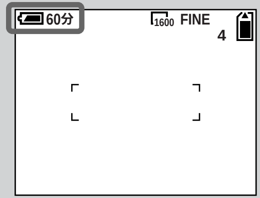


バッテリー／“ メモリースティック ”カバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを矢印の方向に押して取り出してください。

- 取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生可能な残り時間が液晶画面に表示されます。



- 液晶画面をON/OFFしたときは正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

充電時間

使い切ったバッテリーを温度25°Cの環境でACパワーアダプターAC-LS1Aで充電したときの時間です。

バッテリー	満充電時間
NP-FC10（付属）	約150分

バッテリーの使用時間と撮影／再生可能枚数

次の表は撮影モードを通常撮影にし、満充電した付属のバッテリーで温度25°Cの環境で使用した場合の目安です。また、撮影枚数は付属の“メモリースティック”を交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影*1)

画像サイズ	NP-FC10（付属）	
	撮影枚数	使用時間
1600×1200	約140枚	約70分

*1) 以下の設定で撮影
－液晶画面をONにする
－画質をファインにする
－30秒ごとに1回撮影
－1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
－2回に1度、フラッシュを発光
－10回に1度、電源を入／切する

連続撮影*2)

画像サイズ	NP-FC10（付属）		
	液晶画面	撮影枚数	使用時間
1600×1200	ON	約1400枚	約70分
	OFF	約2200枚	約110分
640×480	ON	約1400枚	約70分
	OFF	約2200枚	約110分

*2) 以下の設定で撮影
－画質をスタンダードにする
－フラッシュモードを⚡（発光禁止）にする
－約3秒ごとに連続撮影

静止画を再生*3) するとき

画像サイズ	NP-FC10（付属）	
	再生枚数	使用時間
1600×1200	約3200枚	約160分
640×480	約3200枚	約160分

*3) 液晶画面ONにして、約3秒ごとにシングル画面を順番に再生

動画を撮影*4) するとき

NP-FC10（付属）	
液晶画面ON	液晶画面OFF
約90分	約120分

*4) 画像サイズが160×112の場合の連続撮影

- 次のような場合は使用時間と撮影／再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  – 周囲が低温のとき
  – フラッシュ使用時
  – 電源の入／切をくり返したとき
  – ズームを多用したとき
  – パワーセーブ［切］にしたとき
  – LCDバックライトが［明］になっているとき
  – 使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量が低下したとき（**別冊応用編** → 61ページ）

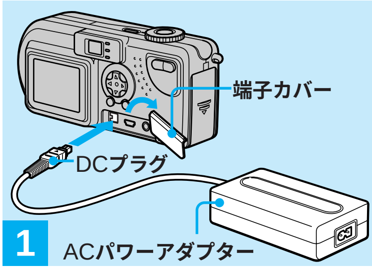
パワーセーブについて

パワーセーブ［入］でご使用になると撮影時間を長持ちさせることができます。モードダイヤルを「SET UP」に合わせ、［設定2］の［パワーセーブ］を［入］にしてください。工場出荷時は［入］に設定されています
（**別冊応用編** → 58ページ）。

パワーセーブ［入］にすると

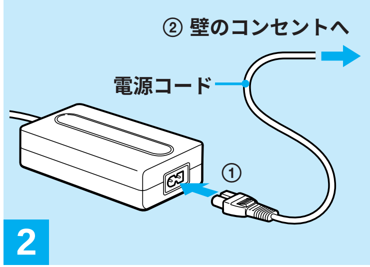
- 液晶画面の明るさがパワーセーブが［切］に比べて暗くなります。このとき［LCDバックライト］の設定はできません（**別冊応用編** → 58ページ）。
- 本機の電源を入れたときフラッシュモードは常に⊘（発光禁止）になります。
- フラッシュで撮影したい場合はコントロールボタンの▲（⚡）を押して、⚡（強制発光）またはオートにしてください（23ページ）。
- 静止画撮影時はシャッターボタンを半押ししたときのみピントが合います。

外部電源で使う



→ 端子カバーを開け、ACパワーアダプターAC-LS1A（付属）のケーブルを本機のDC IN端子につなぐ

DCプラグの▲マークを上にしてつなぎます。



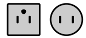
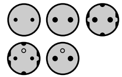
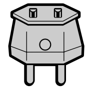
→ 電源コードをACパワーアダプターと壁のコンセントにつなぐ

• ACパワーアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

• 使い終わったら、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

海外で使うときは

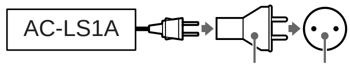
海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
 主に北米など	不要です。
 主にヨーロッパなど	

本機は海外でもお使いになれます。

• 付属のACパワーアダプターAC-LS1Aは、全世界の電源（AC 100 V～240 V・50/60 Hz）でお使いいただけます。

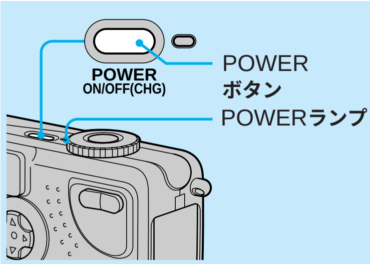
• 下図のように、付属のACパワーアダプターを差し込む変換プラグアダプター[a]が必要になる場合があります。



• 変換プラグアダプター／電源コンセント[b]の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

• 電子式変圧機（トラベル・コンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る



➡ POWERボタンを押して、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯し、電源が入ります。初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（次ページ）。

電源を切る

POWERボタンを再び押すと、POWERランプが消え、電源が切れます。

• モードダイヤルが「SCN」、「📷」、「🎞」のいずれかになっているときは、電源を入れると、レンズ部が動きます。レンズ部に触れないようにご注意ください。

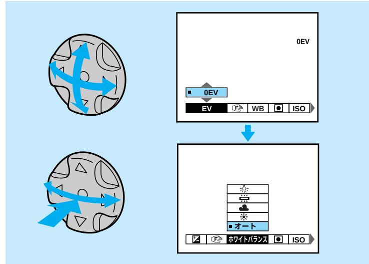
オートパワーオフ機能

バッテリーを使って、撮影、再生またはセットアップを行っているとき、本機の電源を入れたまま一定時間*操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。
ただし、バッテリー使用中でも、下記の場合はオートパワーオフ機能は働きません。

• 動画再生時
• スライドショー時
• USB端子、またはA/V OUT（MONO）端子にプラグが接続されているとき

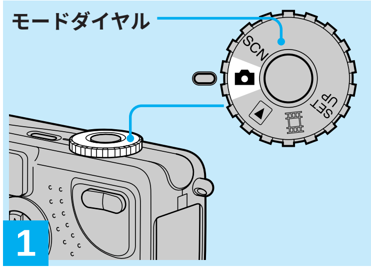
* パワーセーブ［入］のとき：約90秒
パワーセーブ［切］のとき：約3分間

コントロールボタンについて

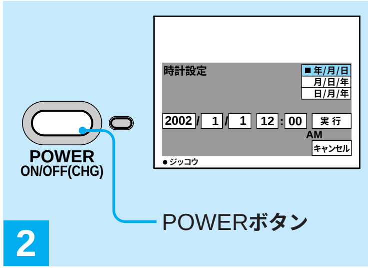


本機の設定を変えるときは、液晶画面にメニューやSET UP（**別冊応用編** ➡ 4ページ）を表示させ、コントロールボタンを使って操作します。
各項目を設定するときは、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、項目や設定を選び、最後に中央の●、または◀/▶を押して決定します。

日付／時刻を合わせる

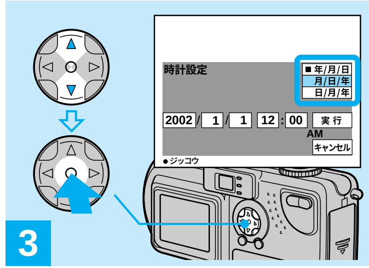


➡ モードダイヤルを「📷」にする



➡ POWERボタンを押して、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯します。時計設定画面が表示されます。

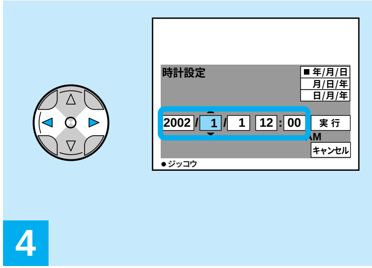


➡ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す

表示は、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] の中から選びます。

- モードダイヤルを「SCN」、「▶」、「🎞」の位置にしても操作できます。
- 一度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、モードダイヤルを「SET UP」に合わせ、[設定1] の [時計設定] を選んでから（**別冊応用編** ➡ 58ページ）、手順**3**から行ってください。

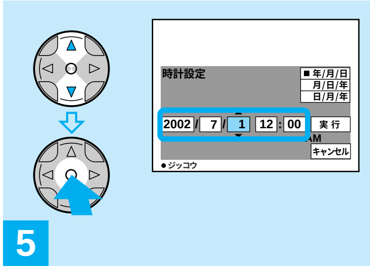
- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池の残量が少なくなると（**別冊応用編** ➡ 59ページ）、自動的に時計設定画面が表示されます。このときは手順**3**以降を行って日付、時刻を設定し直してください。



4

→ **コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ**

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

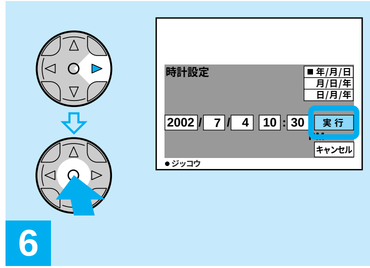


5

→ **コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す**

数値が確定され、次の項目に移ります。上記の手順を繰り返して、すべての項目を設定してください。

- 手順3で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。



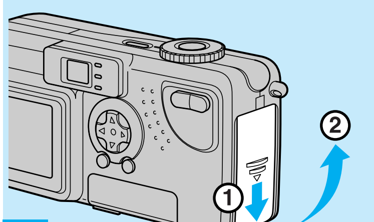
6

→ **コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す**

日付・時刻が設定され、時計が動き始めます。

- 中止するときは、コントロールボタンで［キャンセル］を選び、中央の●を押します。

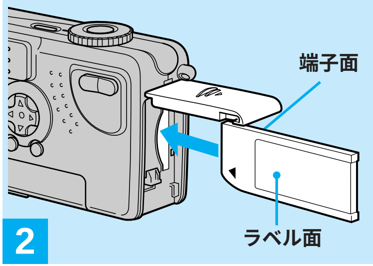
“メモリースティック”を入れる／取り出す



1

→ バッテリー／“メモリースティック”カバーを開ける

矢印の方向にスライドさせて開けます。

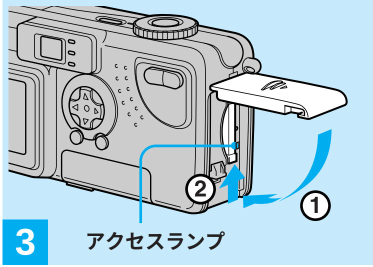


2

→“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

• “メモリースティック”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。



3

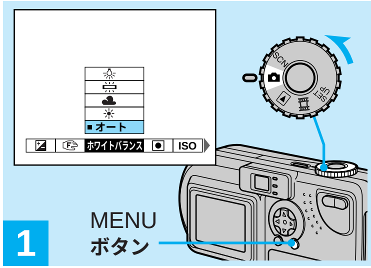
→ バッテリー／“メモリースティック”カバーを閉める

“メモリースティック”を取り出すには

バッテリー／“メモリースティック”カバーを開け、“メモリースティック”を1回押して取り出してください。

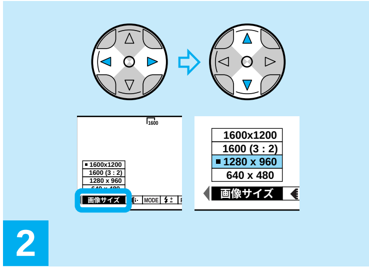
• **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に“メモリースティック”を取り出したり、電源を切ったりしないでください。**

静止画の画像サイズ／画質を決める



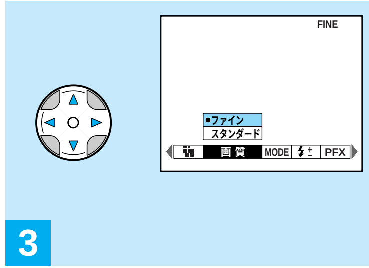
➡ **モードダイヤルを「」にしてから、電源を入れ、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。



➡ **コントロールボタンの◀/▶で［ ］（画像サイズ）を選ぶ。▲/▼で希望の画像サイズを選ぶ**

画像サイズが確定します。



➡ **コントロールボタンの◀/▶で［ ］（画質）を選ぶ。▲/▼で希望の画質を選ぶ**

画質が確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューが消えます。

- モードダイヤルを「SCN」の位置にしても操作できます。

- 画質は［ファイン］（高画質）と［スタンダード］（標準）の2種類から選ぶことができます。
- ここで選んだ画像サイズと画質の設定は、電源を切った後も保持されます。

画像サイズ／画質について

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）と画質（圧縮率）を選ぶことができます。画像サイズを大きく、画質を高くするほど、画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、" メモリースティック "に記録できる枚数は少なくなります。
目的に合った画像サイズと画質をお選びください。
撮影した画像のサイズをあとで変えることもできます（リサイズ機能、**別冊応用編** ➡ 19ページ）。

画像サイズは下記の4種類から選ぶことができます。

画像サイズ	**用途例**
1600×1200	A4サイズの印刷
1600（3:2）	3:2プリント*
1280×960	ハガキサイズの印刷
640×480	Eメール添付

* プリント紙の横縦比3：2に合うように、画像を3：2で撮影します。

" メモリースティック "1枚に記録できる枚数**

枚数はファイン（スタンダード）の順で記載されています。

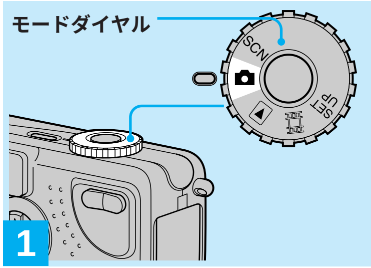
（単位：枚）

容量 / 画像サイズ	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
1600×1200	8 (15)	16 (30)	32 (60)	64 (120)	133 (246)
1600（3:2）	8 (15)	16 (30)	32 (60)	64 (120)	133 (246)
1280×960	12 (23)	24 (44)	50 (93)	100 (186)	202 (375)
640×480	48 (120)	96 (240)	195 (488)	393 (983)	789 (1973)

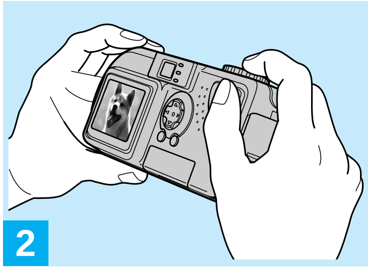
**撮影モードが［通常撮影］の場合
その他のモードの記録枚数は**別冊応用編** ➡ 51ページをご覧ください。

- 画像サイズはパソコンで見るときのサイズです。本機の液晶画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 画像サイズの数値（例：1600×1200）は、画素数を表しています。

簡単に撮る（オート撮影）

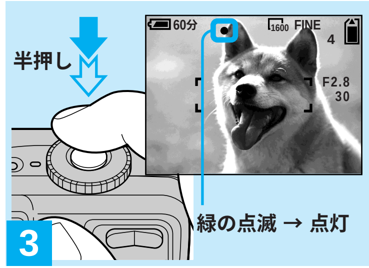


➡ モードダイヤルを「」にしてから、電源を入れる



➡ 両手でカメラを構え、被写体をフレーム中央部におさめる

レンズやフラッシュ発光部に指がかからないようにしてください。



➡ シャッターボタンを半押しする

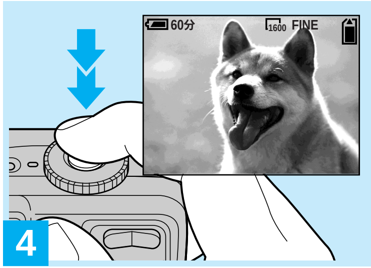
「ピピッ」と音がします。液晶画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。

- レンズカバーは電源を入れると開きます。
- 本機の電源オン時やズーム使用時（21ページ）など、レンズ部が動いているときは、レンズ部に触れないでください。
- 「」では露出、ピントが自動で調整されます。

- 自動ピント合わせ（AF＝オートフォーカス）のモードは、マルチポイントAFと中央重点AFが選択できます（**別冊応用編** ➞ 5ページ）。

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- ピント合わせに必要な被写体までの距離は、50 cm以上です。これより近くの被写体を撮影するときは近接撮影してください（21ページ）。
- 液晶画面内に出る枠はピント合わせを行う範囲を表します（AF測距枠、**別冊応用編** ➞ 5ページ）。

簡単に撮る（オート撮影）（つづき）



➡ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「カシャッ」と音がして、撮影が完了し静止画が“メモリースティック”に記録されます。録画ランプ（7ページ）が消えると、次の撮影ができます。

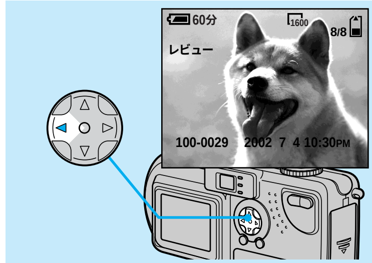
- バッテリーを使って撮影を行っているとき、本機の電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（13ページ）。

ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
オートフォーカスは、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう1度ピントを合わせてみてください。

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体

最後に撮影した画像を確かめる（クイックレビュー）



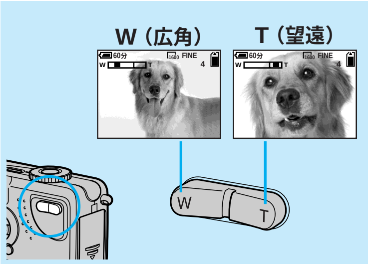
➡ コントロールボタンの◀（⊟）を押す

撮影モードに戻るには、シャッターボタンを軽く押すか、もう1度コントロールボタンの◀（⊟）を押します。

表示された画像を削除する

1. MENUボタンを押して、メニューを表示する。
2. コントロールボタンの▶で［削除］を選んで、中央の●を押す。
3. コントロールボタンの▲で［実行］を選んで、中央の●を押す。
   画像が削除されます。

ズームで撮る



➡ ズームボタンで希望の大きさにし、撮影する

ピントが合うための最短距離

ズームがW側いっぱいのとき：
レンズ先端から約50 cm

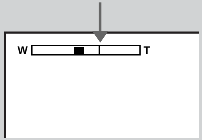
ズームがT側いっぱいのとき：
レンズ先端から約50 cm

- ズーム時はレンズ部が動きます。レンズ部に触れないようにご注意ください。
- ズームは動画撮影（**別冊応用編** ➡ 22ページ）中には使えません。

デジタルズーム

3倍を越えるズームは、画像をデジタル処理して最大6倍まで拡大するデジタルズームになります。画質は劣化しますので、この機能が不要な場合はSET UPの［デジタルズーム］を［切］にしてください（**別冊応用編** ➡ 57ページ）。

このラインよりT側はデジタルズーム



- デジタルズーム時の画像はファインダーでは確認できません。
- デジタルズーム時はオートフォーカスの枠は表示されません。

近接撮影（マクロ撮影）

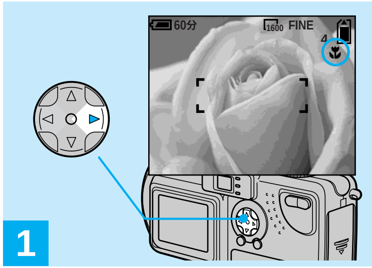


花や昆虫など、小さな被写体に接近して撮りたいときは、近接（マクロ）撮影をします。下記の距離まで被写体に接近して撮影することができます。

ズームがW側いっぱいのとき：
レンズ先端から約10 cm

ズームがT側いっぱいのとき：
レンズ先端から約50 cm

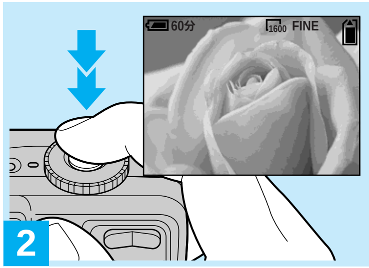
近接撮影（マクロ撮影）（つづき）



➡ モードダイヤルを「📷」にして、コントロールボタンの▶（🌷）を押す

液晶画面に🌷（マクロ）が表示されます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードダイヤルを「SCN」（風景モード以外）（27ページ）、「🎞」の位置にしても操作できます。

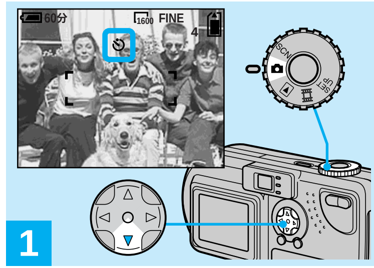


➡ 被写体をフレームにおさめ、撮影する

通常撮影に戻すには
もう1度コントロールボタンの▶（🌷）を押してください。液晶画面から🌷が消えます。

- マクロ撮影時は液晶画面を使って撮影してください。ファインダーを使って撮影すると、実際に見える範囲と写る範囲がずれることがあります。

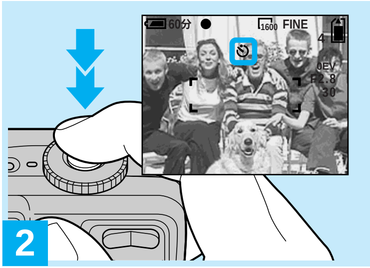
セルフタイマーで撮る



➡ モードダイヤルを「📷」にして、コントロールボタンの▼（⏲）を押す

液晶画面に⏲（セルフタイマー）が表示されます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードダイヤルを「SCN」、「🎞」の位置にしても操作できます。



➡ **被写体をフレーム中央部におさめ、シャッターボタンを深く押し込む**

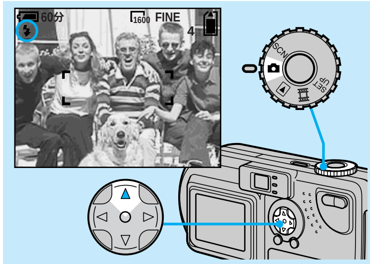
セルフタイマーランプ（6ページ）がオレンジ色に点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

もう1度コントロールボタンの▼（⏲）を押してください。

- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

フラッシュモードを選ぶ



➡ **モードダイヤルを「📷」にして、コントロールボタンの▲（⚡）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ**

フラッシュモードは下記の通りです。

表示なし（オート）：撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的に発光します。

⚡（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。

⊘（発光禁止）：発光しません。

- フラッシュ推奨撮影距離はW側で0.5～3.8 m、T側で0.5～2.4 mです（[ISO]が［オート］のとき）。
- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- フラッシュの発光量はメニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（**別冊応用編** ➡ 53ページ）。
- フラッシュモードがオートまたは⚡（強制発光）のとき、暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つ場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。
- フラッシュを充電している間は、⚡/CHGランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。

人物の目が赤くなるのを軽減するには

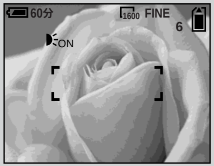
撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。
SET UPの［赤目軽減］を［入］にしてください（**別冊応用編 ➡ 57ページ**）。液晶画面に◉が表示されます。



• 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

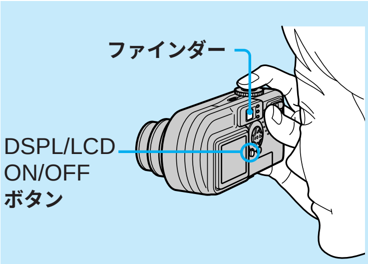
AFイルミネーターを使って撮影する

暗い場所でフォーカスを合わせるための補助光です。
SET UPの［AFイルミネーター］（**別冊応用編 ➡ 57ページ**）を［オート］にしてください。撮影時に ON が表示され、シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間だけ自動的に発光します。



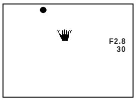
• AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離：約2.8 m（W）まで／約1.6 m（T）まで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
• AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
• フォーカスを手動で調整しているとき、AFイルミネーターは使えません。
• シーンセレクション（27ページ）で以下のモードを選んだ場合、AFイルミネーターは発光しません。
  — ☽ 夜景モードのとき
  — ▲ 風景モードのとき
• AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

ファインダーで撮る



バッテリーの消耗をおさえたいときや、液晶画面で画像を確認しづらいときの撮影に便利です。
DSPL/LCD ON/OFFボタンを押すたびに、表示が下記の順で切り換わります。

画面表示OFF（撮影情報のみ表示）

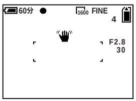


↓

液晶画面OFF

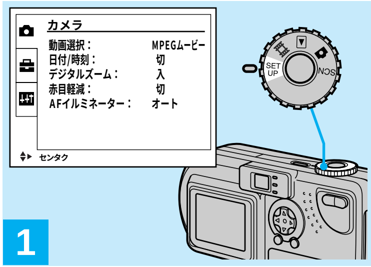
↓

画面表示ON



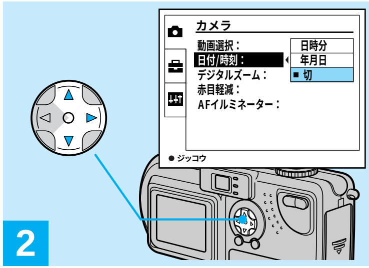
- 表示項目について詳しくは、**別冊応用編** ➡ 64ページをご覧ください。
- 液晶画面内のAE/AFロック表示と同じく、ファインダー部のAE/AFロックランプが点滅から点灯に変わると、撮影可能です（19ページ）。
- 液晶画面がOFFのときデジタルズームは働きません（21ページ）。
- 液晶画面がOFFのとき（フラッシュモード）／（セルフタイマー）／（マクロ）を押すと液晶画面に画像が約2秒表示され、設定の確認と変更ができます。

日付や時刻を入れて撮る

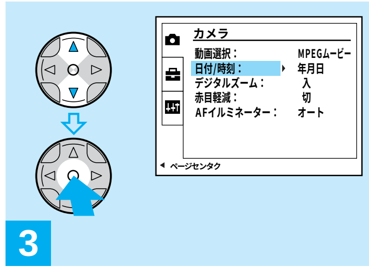


➡ モードダイヤルを「SET UP」にする

SET UP画面が表示されます。



➡ コントロールボタンの▲/▼で［ ］（カメラ）を選び、▶を押す。▲/▼で［日付／時刻］を選び、▶を押す



➡ コントロールボタンの▲/▼で挿入するデータの種類を選び、中央の●を押す

日時分：画像に撮影日時分を入れる
年月日：画像に撮影年月日を入れる
切：画像に日付・時刻は記録されない

設定が終わったら、モードダイヤルを「 」にして、撮影してください。

- 日付や時刻を入れて撮影すると、あとで消去できませんのでご注意ください。
- 撮影時は実際の日付や時刻は表示されず、液晶画面左上にDATEが表示されます。実際の日付や時刻は、再生時に表示されます。
- ［年月日］を選んだ場合、「日付／時刻を合わせる」（14ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。

- モードダイヤルを「SCN」の位置にしても撮影できます。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

場面に合わせて撮る ― シーンセレクション



夜景、夜景と人物、風景を撮影するときは、下記のモードを使用して効果を高めることもできます。

夜景モード

暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

- フラッシュは使用できません。

夜景＆人物モード

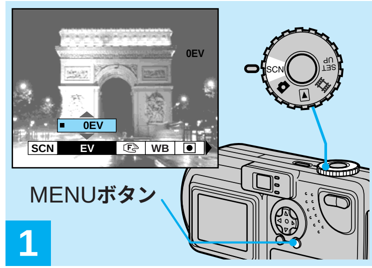
夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。
シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

- 夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際だたせた画像を撮影することができます。
- フラッシュが発光します。

風景モード

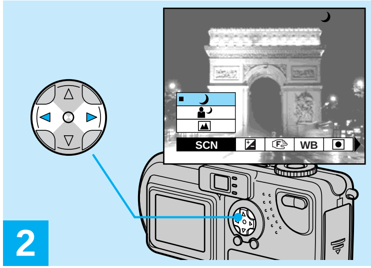
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

- マクロ撮影はできません。
- フラッシュは自動発光しません。

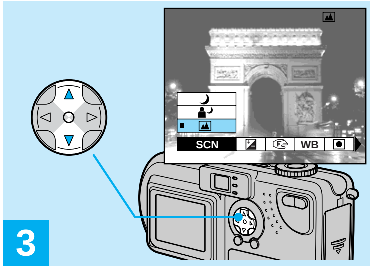


➡ モードダイヤルを「SCN」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。



➡ コントロールボタンの◀/▶で［SCN］を選ぶ



➡ コントロールボタンの▲/▼で希望のモードを選ぶ

モードが確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューが消えます。

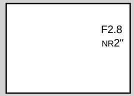
シーンセレクションを解除するには
モードダイヤルを「SCN」以外にしてください。

• ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

NRスローシャッター

夜景モードおよび夜景＆人物モードで、シャッタースピードが1/2秒以上の遅い設定になるとシャッタースピード表示の前に「NR」が表示され、自動的にNRスローシャッターモードに入ります。

NRスローシャッターモードとは、撮影した画像からノイズを除去し、きれいな画像を得る機能です。手ぶれを防ぐために三脚のご使用をお勧めします。



シャッターボタンを深く押し込む。

↓



このとき画面は黒くなります。

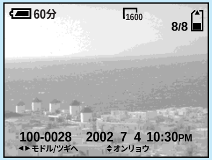
↓



「処理中」の表示が消えると、画像が記録されます。

本機の液晶画面で見る

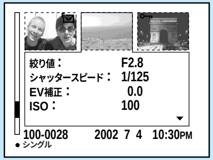
シングル（1枚表示）画面



インデックス（9枚表示）画面



インデックス（3枚表示）画面



撮影した画像を本機の液晶画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の3種類から選ぶことができます。

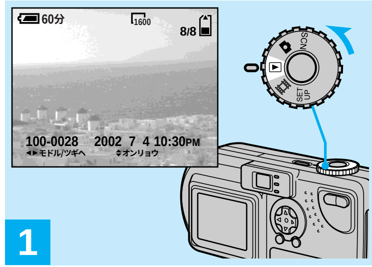
シングル（1枚表示）画面
1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

インデックス（9枚表示）画面
9枚の画像を同時に見ることができます。

インデックス（3枚表示）画面
3枚の画像を同時に見ることができます。画像情報も表示できます。

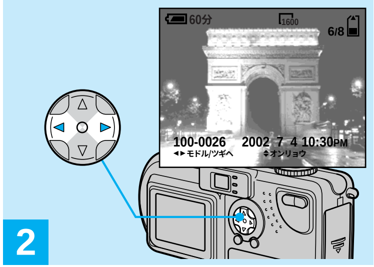
- 動画の再生については、**別冊応用編** ➡ 23ページをご覧ください。
- 画像に表示されるマークについては、**別冊応用編** ➡ 66ページをご覧ください。

シングル画面で見る



➡ モードダイヤルを「▶」にして、電源を入れる

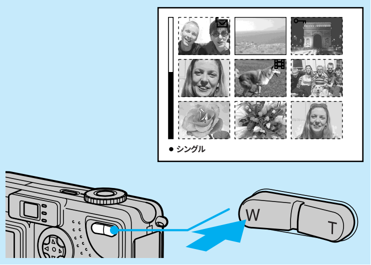
最後に撮影した画像が表示されます。



➡ コントロールボタンの◀/▶で静止画を選ぶ

◀：前の画像が表示されます。
▶：次の画像が表示されます。

インデックス（9枚/3枚表示）画面で見る

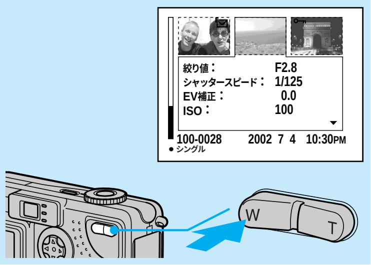


➡ ズームWボタンを1回押す

インデックス（9枚表示）画面に切り換わります。

次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、黄色い枠を上下左右に動かしてください。



➡ ズームWボタンをもう1回押す

インデックス（3枚表示）画面に切り換わります。

コントロールボタンの▲/▼を押すと残りの画像情報が表示されます。

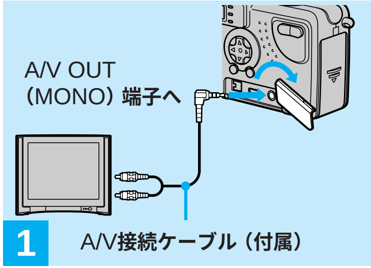
次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの◀/▶を押してください。

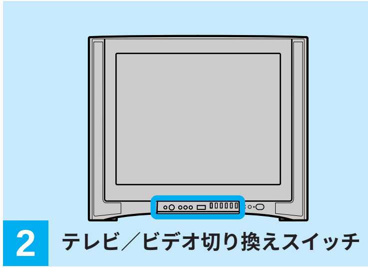
シングル画面に戻るには

ズームTボタンを繰り返し押すか、コントロールボタンの中央の●を押してください。

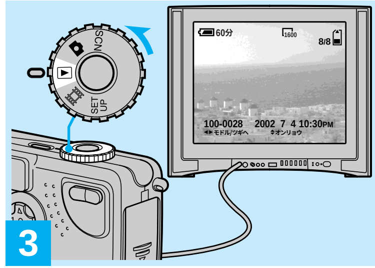
テレビで見る



1



2



3

➡ A/V接続ケーブルで本機のA/V OUT（MONO）端子と、テレビの映像/音声入力端子を接続する

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声プラグ（黒）をLch（左）に接続してください。

➡ テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

➡ モードダイヤルを「▶」にして、本機の電源を入れる

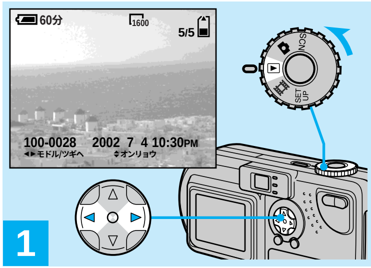
コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。

- 本機とテレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつないでください。

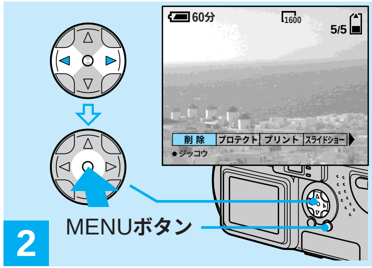
- お使いのテレビによって、スイッチの名称や位置は異なります。

- 海外でお使いのときはSET UPの［ビデオ出力信号］の切り換えが必要な場合もあります（**別冊応用編** ➡ 58ページ）。

静止画を削除する

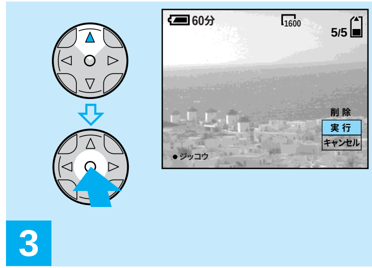


➡ モードダイヤルを「▶」にして、電源を入れる。
コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示する



➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの◀/▶で［削除］を選び、中央の●を押す

この時点ではまだ削除されていません。



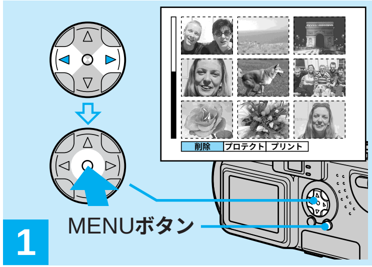
➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」と表示されます。表示が消えると、画像が削除されます。

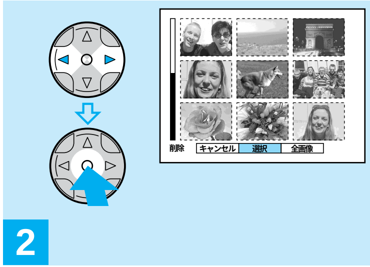
削除を中止するには

コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（9枚表示）画面で削除する

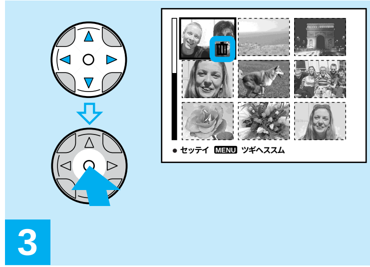


➡ **インデックス（9枚表示）画面（30ページ）で、MENUボタンを押し、コントロールボタンの◀/▶で［削除］を選び、中央の●を押す**



➡ **コントロールボタンの◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す**

すべての画像を削除するには
コントロールボタンの◀/▶で［全画像］を選び、中央の●を押してください。次に［実行］を選び、中央の●を押してください。削除を中止するときは［終了］を選び、中央の●を押してください。

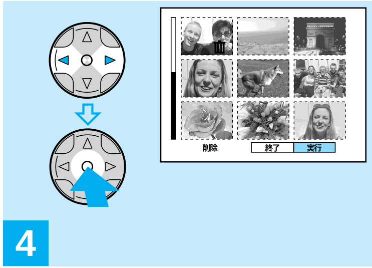


➡ **削除したい画像をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す**

選んだ画像に🗑マークがつきます。この時点ではまだ削除されていません。削除したいすべての画像に🗑マークをつけてください。

- 選択を取り消すには、もう1度中央の●を押してください。

インデックス（9枚表示）画面で削除する（つづき）



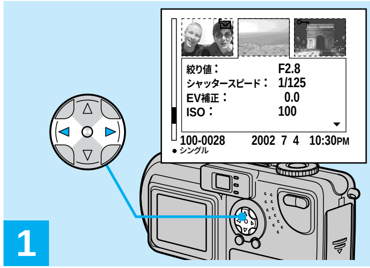
➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの◀/▶で［実行］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が消えると、画像が削除されます。

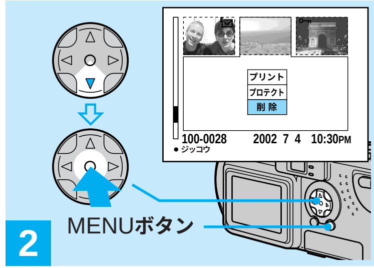
削除を中止するには

コントロールボタンの◀で［終了］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（3枚表示）画面で削除する

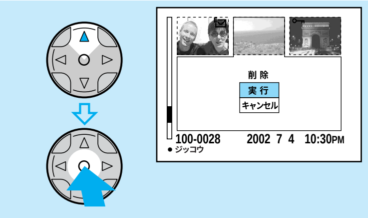


➡ インデックス（3枚表示）画面（30ページ）で、コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を中央に表示する



➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▼で［削除］を選び、中央の●を押す

この時点ではまだ削除されていません。



3

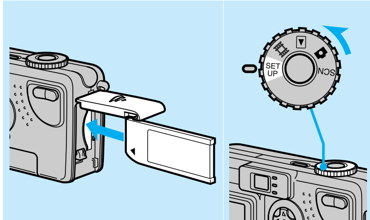
➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す**

「アクセス中」という表示が消えると、中央の画像が削除されます。

削除を中止するには

コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

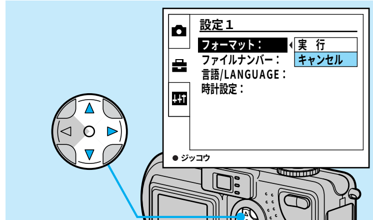
“メモリースティック”をフォーマットする



1

➡ **フォーマットしたい“メモリースティック”を入れる。モードダイヤルを「SET UP」にして、電源を入れる**

- 「フォーマット」とは、“メモリースティック”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“メモリースティック”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。
- **フォーマットすると、“メモリースティック”内の画像はすべて消去されますので、ご注意ください。**



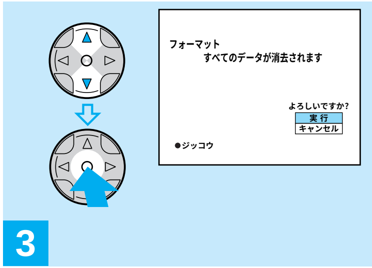
2

➡ **コントロールボタンの▲/▼で［🧰］（設定1）を選び、▶で［フォーマット］を選ぶ。▶を押して▲/▼で［実行］を選び、中央の●を押す**

フォーマットを中止するには

コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

“メモリースティック”をフォーマットする（つづき）



➡ コントロールボタンの▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す

「フォーマット中」という表示が出ます。表示が消えると、フォーマットが完了します。

静止画をパソコンに取り込むまで

右記のような流れで、本機で撮影した画像をパソコンに取り込みます。

お使いのOSでの手順は

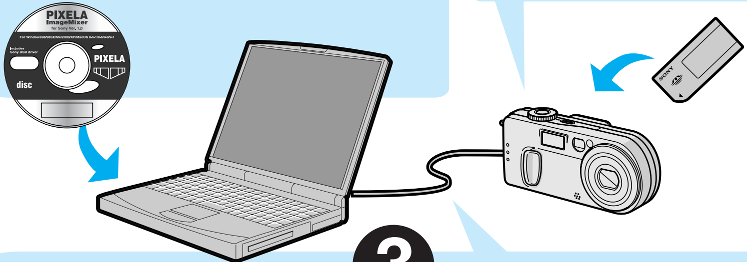
OSによって手順❶が不要な場合があります。

OS	手順
Windows 98/98SE/2000/Me	手順❶～❺すべて（39～45、48ページ）
Windows XP	手順❷～❺（41、42、46～48ページ）
Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)	51ページ

❶ USBドライバーをインストールする* (39ページ)

* 2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

❷ 本機とパソコンを準備する (41ページ)



❸ USBケーブルで接続する (42ページ)

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする (43ページ)

❺ パソコンで画像を見る (48ページ)



パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/
Windows 98SE/
Windows 2000 Professional/
Windows Millennium Edition/
Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

ディスプレイ: 800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）以上

USB**端子**: 標準装備であること

■ Macintosh**環境**

OS: Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/
9.2、Mac OS X (v10.0/
v10.1)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1にアップデートしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

ディスプレイ: 800×600ドット以上、32 000色モード以上

USB**端子**: 標準装備であること

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

USBモードには［標準］と［PTP］の2通りの接続方法があり、お買い上げ時には［標準］に設定されています。ここでは主に［標準］での使いかたを説明します。

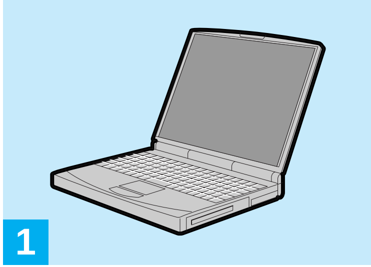
パソコンとの通信について（Windowsのみ）

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“ メモリースティック ”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバーをインストールする 98 2000 98SE Me



➡ **パソコンの電源を入れる**

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- ここでは、Microsoft Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。



➡ **付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする**

しばらくすると、タイトル画面が表示されます。
タイトル画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイ コンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）以上にしてください。
800×600ドット未満、256色以下ではインストールのタイトル画面が表示されません。



➡ **「USB Driver」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする**

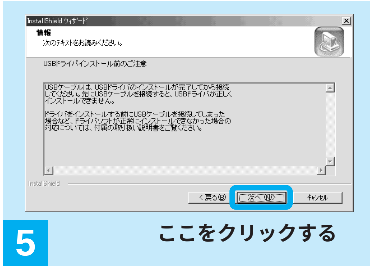
「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

❶ USBドライバーをインストールする（つづき）



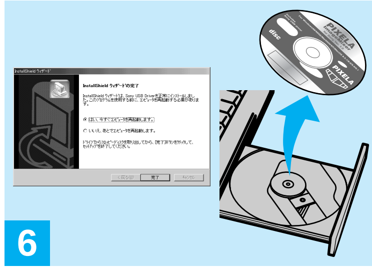
➡ ［次へ］をクリックする

「情報」画面が表示されます。



➡ ［次へ］をクリックする

USBドライバーのインストールが始まります。

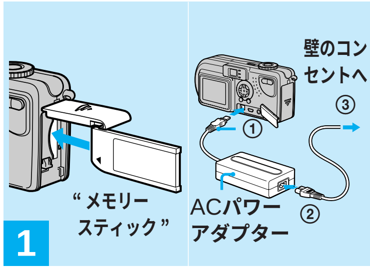


➡ 「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されたら、パソコンからCD-ROMを取り出す



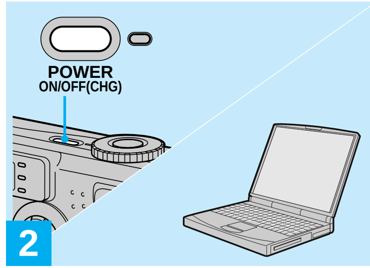
➡「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の○をクリックして◉にし、［完了］をクリックする

パソコンの電源が一度切れ、すぐに入ります（再起動）。再起動後に、本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。



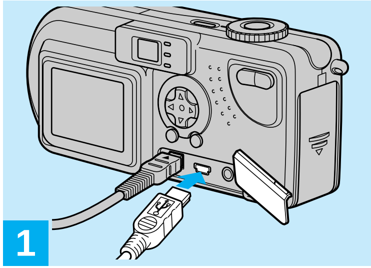
➡ 本機に画像を記録した“ メモリースティック ”を入れる。本機とACパワーアダプターをつなぎ、壁のコンセントにつなぐ

- ACパワーアダプターについては12ページをご覧ください。
- “ メモリースティック ”については、16ページをご覧ください。



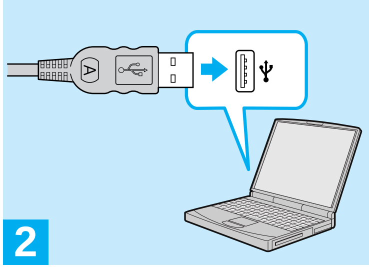
➡ 本機とパソコンの電源を入れる

❸ USBケーブルで接続する 98 2000 XP 98SE Me



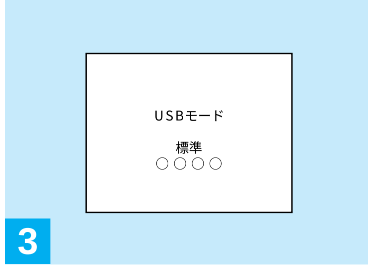
1

➡ **付属のUSBケーブルをUSB端子につなぐ**



2

➡ **USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ**



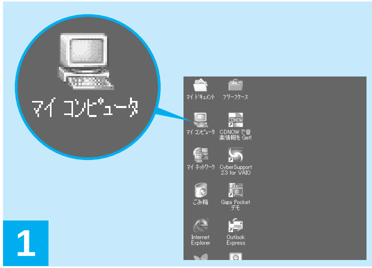
3

本機の液晶画面に「USBモード 標準」と表示されます。
初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面のUSB端子をご使用ください。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面にコピーウィザードが表示されます。46ページにお進みください。

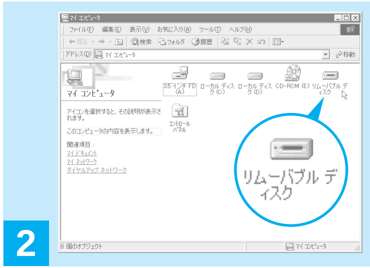
- 手順❸を終了しても「USBモード 標準」と表示されないときは、本機のSET UPの［USB接続］が［標準］になっているか確認してください（**別冊応用編** ➡ 58ページ）。

④ 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 2000 98SE Me（XP 46～47ページ）



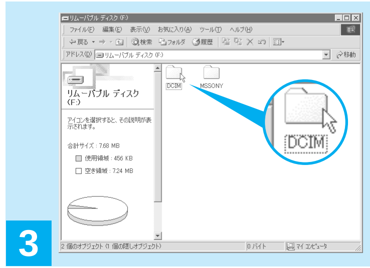
➡ [マイ コンピュータ] をダブルクリックする

「マイ コンピュータ」画面が表示されます。



➡ [リムーバブル ディスク] をダブルクリックする

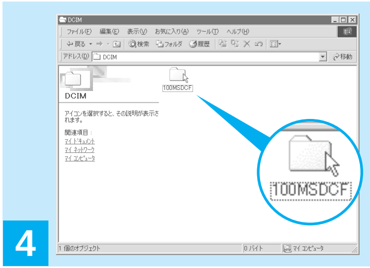
本機内の“メモリースティック”の内容が表示されます。



➡ [DCIM] をダブルクリックする

「DCIM」フォルダーの内容が表示されます。

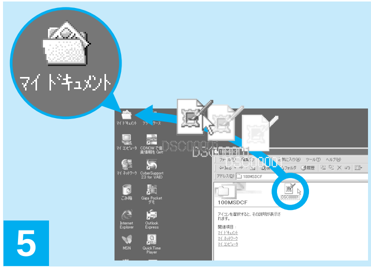
- ここでは、「マイドキュメント」というフォルダーに画像をコピーします。
- リムーバブル ディスクが表示されていないときは、45ページをご覧ください。
- 画像が入っているフォルダーは、画像の種類によって異なります（49ページ）。



➡ [100MSDCF] をダブルクリックする

「100MSDCF」フォルダーの内容が表示されます。

- 「100MSDCF」フォルダーの中に、本機で撮影した画像がファイルとして入っています。

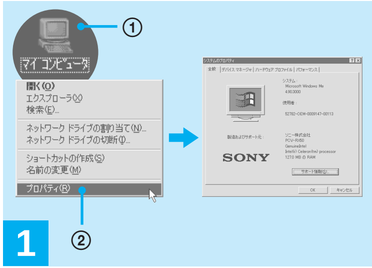


➡ 画像ファイルを「マイドキュメント」フォルダーにドラッグ＆ドロップする

「マイドキュメント」フォルダーに画像ファイルがコピーされます。

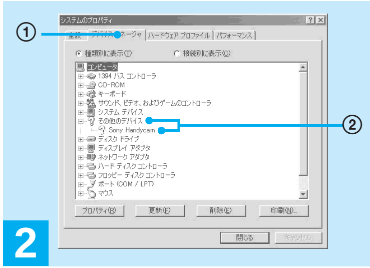
- 同じファイル名の画像をパソコンの同じフォルダーにコピーすると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きするときは［はい］をクリックしてください。上書きしないときは［いいえ］をクリックして、ファイル名を変更してください。

「リムーバブル ディスク」が表示されないときは



➡ [マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

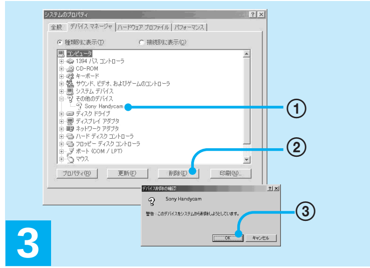
「システムのプロパティ」画面が表示されます。



➡ 別のデバイスが表示されていないか確認する

① [デバイス マネージャ] をクリックする。

② [その他のデバイス] の中に“ ? ”マークの付いた「Sony DSC」または「Sony Handycam」がないか確認する。



➡ 表示されていたら削除する

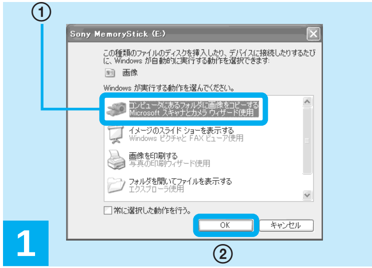
① 「Sony DSC」または「Sony Handycam」をクリックする。

② [削除] をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

③ [OK] をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、付属のCD-ROMのUSBドライバーをインストールし直してください（39ページ）。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP



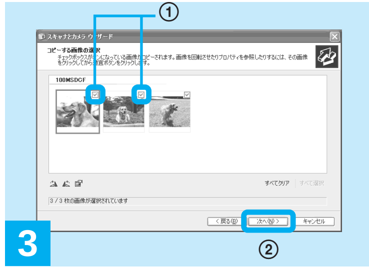
➡ コピーウィザード画面で［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、[OK] をクリックする

「スキャナとカメラのウィザードの開始」画面が表示されます。



➡ ［次へ］をクリックする

本機の“メモリースティック”に記録されている画像が表示されます。



➡ パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。

- 42ページの手順を行うと、パソコンの画面にコピーウィザードが表示されます。



➡ 画像の名前とコピー先を指定し、［次へ］をクリックする

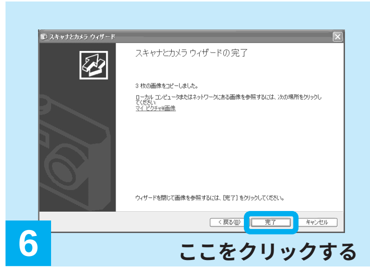
画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示されます。

• ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。



➡ ［作業を終了する］を選び、［次へ］をクリックする

「スキャナとカメラのウィザードの完了」画面が表示されます。

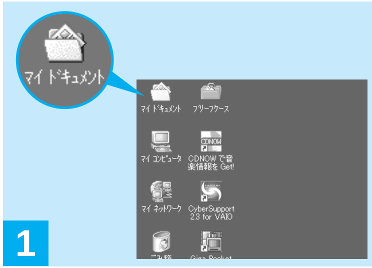


➡ ［完了］をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

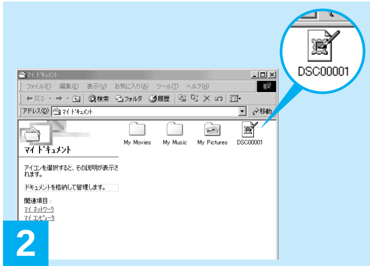
• 続けて画像をコピーしたい場合は、USBケーブルを一度抜き差しして、手順**1**から行ってください。

❺ パソコンで画像を見る



➡ デスクトップ画面上の［マイドキュメント］をダブルクリックする

「マイドキュメント」フォルダーの内容が表示されます。



➡ 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が開きます。

- 43、46ページで、「マイドキュメント」フォルダーに画像をコピーした場合の説明です。
- Windows XPをお使いの場合は、［スタート］→［マイドキュメント］をクリックしてください。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から“メモリースティック”を取り出すときは

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合は

1 タスクトレイの をダブルクリックする。

2 （Sony DSC）をクリックし、［停止］をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。

4 ［OK］をクリックする。
Windows XPをお使いの方は、この手順は不要です。

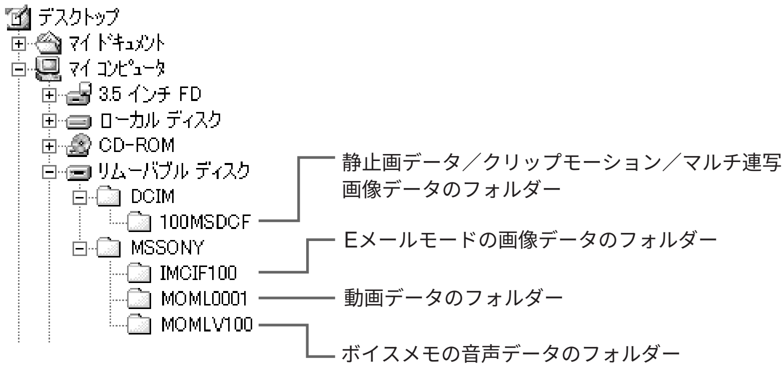
5 USBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出す。

Windows 98/98SEをお使いの場合は
手順5のみ行ってください。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとに“ メモリースティック ”内のフォルダーにまとめられています。

Windows Meで見たときの例



次ページの表について

- ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
  – ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
  – クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル

画像ファイルの保存先とファイル名（つづき）

このフォルダーの中にある	ファイル名	ファイルの内容
100MSDCF	DSC0□□□□.JPG	• 通常撮影した静止画ファイル • 以下のモードで同時に撮影した静止画ファイル －Eメールモード（**別冊応用編** ➡ 12ページ） －ボイスメモモード（**別冊応用編**➡ 13ページ） －マルチ連写モード（**別冊応用編** ➡ 11ページ）
	CLP0□□□□.GIF	• ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイル（**別冊応用編** ➡ 10ページ）
	CLP0□□□□.THM	• ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	MBL0□□□□.GIF	• モバイルモードで撮影したクリップモーションファイル（**別冊応用編** ➡ 10ページ）
	MBL0□□□□.THM	• モバイルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
IMCIF100	DSC0□□□□.JPG	• Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（**別冊応用編** ➡ 12ページ）
MOML0001	MOV0□□□□.MPG	• 通常撮影した動画ファイル（**別冊応用編** ➡ 22ページ）
MOMLV100	DSC0□□□□.MPG	• ボイスメモモードで撮影した音声つきファイル（**別冊応用編**➡ 13ページ）

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1)をお使いの方は手順❷から操作してください。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32 000色モード以上にしてください。

❶USBドライバーをインストールする（Mac OS 8.5.1/8.6/9.0のみ）

1 パソコンの電源を入れる。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
「Pixela ImageMixer」画面が表示されます。

3 （Setup Menu）をダブルクリックする。

4 表示された画面 （USB Driver）をクリックする。
「USB Driver」画面が表示されます。

5 OSの入っているハードディスクアイコンをダブルクリックして、画面を開く。

6 手順4で開いたウィンドウから、下記の2つのファイルを、手順5で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動（ドラッグ＆ドロップ）する。
- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

7 確認のメッセージが表示されたら［OK］をクリックする。

8 パソコンを再起動する。

❷本機とパソコンを準備する

詳しくは、41ページをご覧ください。

❸USBケーブルで接続する

詳しくは、42ページをご覧ください。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から“ メモリースティック ”を取り出すときは
“ メモリースティック ”のアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出してください。

＊Mac OS Xをお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

❹画像ファイルをパソコンにコピーする

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。
本機内の“ メモリースティック ”の内容が表示されます。

2 ［DCIM］をダブルクリックする。

3 ［100MSDCF］をダブルクリックする。

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

❺パソコンで画像を見る

1 ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2 画像ファイルをフォルダーの中から選んでダブルクリックする。
画像が開きます。

デジタルイメージング
カスタマーご登録

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更はこちらのホームページから：**
http://www.sony.co.jp/di-regi/
カスタマーご登録に関する問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
電話：03-5977-7255
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ **デジタルイメージングカスタマーサポート**
デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■ **テクニカルインフォメーションセンター**
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また、修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいしますので、まずお電話ください。
電話：0564-62-4979
受付時間：**月～金曜日　午前9時～午後5時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
① お客様のデジタルイメージングカスタマーID
（既にカスタマーご登録されたお客様にはカスタマーIDが発行されています。）
② 本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③ 本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

3075509 03

この説明書は古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。

Printed in Japan